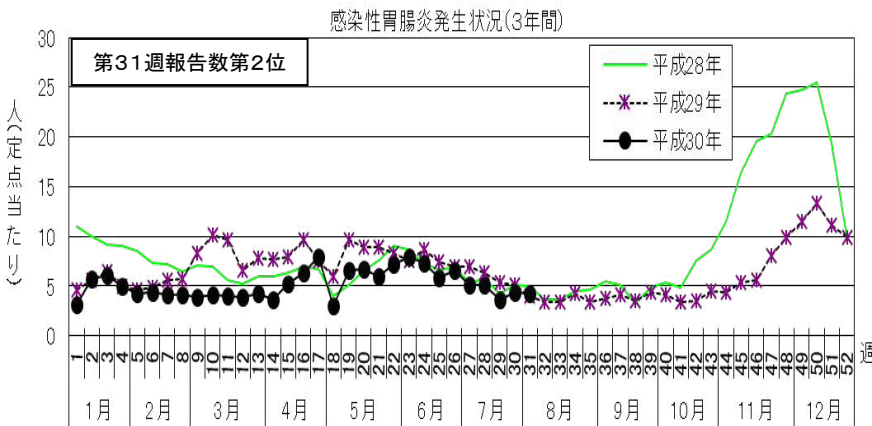
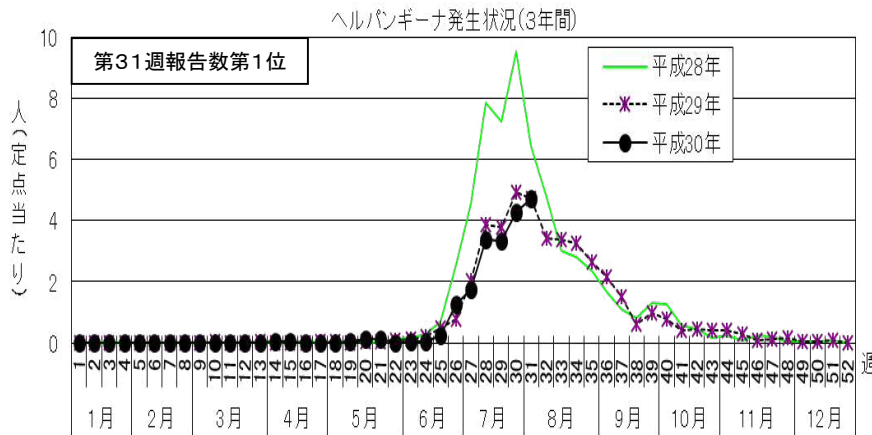


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年7月30日（月）～平成30年8月5日（日）〔平成30年第31週〕の感染症発生状況

第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.73人と前週（4.27人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.24人と前週（4.43人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（3.11人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



報告数が急増しています！～RSウイルス感染症～

近年、RSウイルス感染症は全国的に流行のピークが早まっています。
 川崎市においても平成30年第31週（7月30日～8月5日）の定点当たり患者報告数が2.03人と前週の定点当たり0.89人から急増し、8月にもかかわらず昨年と同様に流行がみられています。地域別では、宮前区を中心に報告数が多くなっており、保育園などでのRSウイルス感染症による欠席者も増加しています。

RSウイルス感染症とは？

- **感染経路**
咳や鼻水などによる飛沫・接触感染
- **潜伏期間**
2～8日間（典型的には4～6日間）
- **症状**
発熱・咳・鼻水などの風邪様症状が数日続きます。多くは軽症ですが、咳がひどくなり、喘鳴や呼吸困難などの症状がでて、細気管支炎や肺炎へと進展するお子さんもいます。
※2歳までにほぼ100%のお子さんが感染するといわれています。

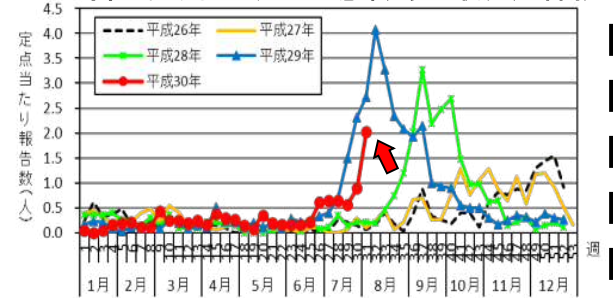


《予防対策》

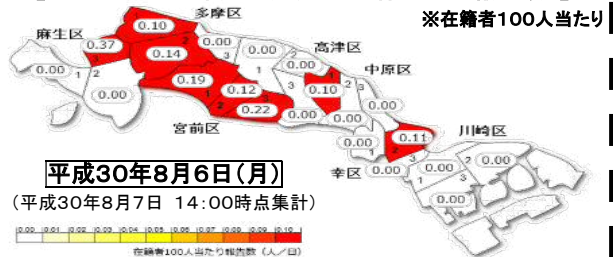
- ・手洗いの徹底
- ・おもちゃの消毒（消毒後、必ず流水で洗う。）
- ・飛沫感染対策として大人はマスク着用



川崎市におけるRSウイルス感染症発生状況(5年間)



学校・保育園等欠席者サーベイランス
 【RSウイルス感染症と診断された保育園児報告数※】



平成30年8月6日(月)
 (平成30年8月7日 14:00時点集計)
 川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)